

# 公務員試験を受けるならあなたはどっち？

高校3年生・専門学校で受験する  
(高校卒業程度の学力が必要)

または

大学進学してから受験する  
(大学卒業程度の学力が必要)

## 【やさしい】教養試験+作文試験のみ

試験内容 教養試験(40~50問/90~120分)+作文  
教養試験 一般知識13科目+一般知能4科目  
一般知識(政治・経済・倫理・社会、世界史、日本史、地理、文学・芸術、国語、英語、数学、物理、化学生物、地学)  
一般知能(文章理解、課題処理・判断推理、数的処理・数的推理、資料解釈)

## 試験内容

## 【難しい】教養試験+専門試験+論作文

試験内容 教養試験(50問/120~150分)+**専門科目**  
(40問/120分)+論作文  
教養試験 一般知識(人文科学・自然科学・社会科学)13題+一般知能(数的処理16問+文章理解11題)  
**専門科目** 行政事務系区分:憲法、民法、行政法、ミクロ経済学、マクロ経済学、財政学、経営学、会計学、統計学、政治学、行政学、社会学、国際関係論、労働法、刑法、商法  
人間科学系区分:心理学、社会学、社会福祉、教育学、社会調査  
技術系区分:土木、建築、機械、電気等各専門分野別の専門科目

## 【競争がすくない】ライバルは公務員を目指す高校生

大学進学・短期大学進学・専門学校進学・民間就職の高校生と進路が被らないのでライバルが少ない

## ライバル

## 【競争が激しい】全国各地の高偏差値大学の4年生と大学院生がライバル

日本大学、北海道教育大学、広島大学、早稲田大学、中央大学、愛知教育大学、立命館大学、千葉大学、文教大学、金沢大学、新潟大学、関西大学、山口大学、熊本大学、鹿児島大学、法政大学、明治大学、福岡教育大学、信州大学、静岡大学、同志社大学、愛媛大学、日本体育大学、東京大学、九州大学、近畿大学など

高卒程度 一般職 初任給 155,500円  
警察官 初任給 180,900円

(専門学校1年卒の場合)高卒初任給+7,000円程度  
(専門学校2年卒の場合)高卒初任給+14,000円程度  
その他、ボーナス(4.5か月分)+諸手当があります

## 給料

大卒程度 一般職 初任給 189,400円  
警察官 初任給 212,900円

その他、ボーナス(4.5か月分)+諸手当があります

高卒程度 253,668,039円

19歳から60歳定年まで(41年間)働いた場合

## 生涯賃金

大卒程度 247,661,751円

23歳から60歳定年まで(37年間)働いた場合

## 高校3年生+専門学校でも受験できる！

例 国家一般職 高校3年生+高校卒業2年以内  
税務職員 高校3年生+高校卒業3年以内  
地方公務員 18歳~21歳

## 受験資格

※自治体によって受験資格が異なりますので、受験案内をご確認下さい。

## 大学に4年間通学しないと受験できません！

大学4年生から受験可能になります

## 【国家公務員】

事務系 国家公務員一般職、裁判所一般職、  
税務職員  
公安系 刑務官、入国警備官、海上保安官、自衛官

## 【地方公務員】

事務系 都道府県職員(一般事務、技術系職種、  
小中学校事務、警察事務)、市町村職員(一般事務、技術系職種)  
公安系 警察官、消防官

## 受験職種

## 【国家公務員】

国家総合職、国家一般職 大卒程度、裁判所総合職、裁判所一般職 大卒程度、衆参事務局総合職、国税専門官、財務専門官

## 【地方公務員】

都道府県職員(上級)、市区町村職員(上級)、警察官、消防官

## ワンポイントアドバイス

公務員を受けるなら高卒程度で受験するのが早道です。  
試験内容も簡単で、大卒よりも4年早く公務員として働くことができます。  
初任給や昇進・昇格は大卒のほうが有利ですが、生涯年収は高卒程度のほうが多いのでお得です。  
高校3年生での受験だけでなくYIC公務員専門学校に入学しても高卒程度の公務員試験を受験することができます。

YIC公務員専門学校